

「消防設備士 甲種／乙種第 4 類 合格テキスト」正誤表

初版第 1 刷

技術評論社 書籍編集部

お詫びと訂正

本書の以下の部分に誤りがありました。ここに訂正するとともに、ご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

(2024 年 10 月 10 日更新分)

○「主要構造部」が「**特定**主要構造部」に変更となったため、以下を修正。

p.192 「2.感知器の設置不要な場所」上から 2 行目

誤	主要構造部を耐火構造とした
正	特定 主要構造部を耐火構造とした

p.193 「3.その他の設置不要な場所」上から 3 行目

誤	主要構造部を耐火構造とした
正	特定 主要構造部を耐火構造とした

p.193 「3.その他の設置不要な場所」下から 2 行目

誤	主要構造部を耐火構造とした
正	特定 主要構造部を耐火構造とした

p.198 表「スポット型感知器の感知面積」の 2 か所

誤	主要構造部を耐火構造とした
正	特定 主要構造部を耐火構造とした

p.198 下から 4 行目

誤	・ 空気の相互の間隔は、耐火構造の防火対象物では 9m 以下、
正	・ 空気の相互の間隔は、 特定主要構造部 が耐火構造の防火対象物では 9m 以下、

p.199 図「空気の相互の間隔」と図「相互間隔（1 辺省略）」

誤	() 内は主要構造部が耐火構造以外の
正	() 内は 特定 主要構造部が耐火構造以外の

(2022 年 2 月 24 日までの正誤表)

p. 19 「6 複合用途防火対象物」上から 2 行目

誤	特定防火対象物となります。
正	特定 用途 防火対象物となります。

p. 25 「1 防火管理者」上から 2 行目

誤	管理権原者から専任され、
正	管理権原者から 選 任され、

p. 40 「(2) 検査を受ける防火対象物」の 2 上から 1 行目

誤	2 老人福祉施設（短期入居施設以外で
正	2 老人福祉施設（短期入 所 施設以外で

p. 139 「(1) 特定防火対象物」上から 2 行目

誤	老人福祉施設・病院、旅館、
正	老人福祉施設、病院、旅館、

p. 139 「(2) 非特定防火対象物」上から 3 行目

誤	重要文化材等は全部に
正	重要文化 財 等は全部に

p.147 「これだけは押さえておこう！」 上から1行目

誤	P型1級受信機とR型受信機
正	P型1級 多回線 とR型受信機

p.151 「4 差動式分布型感知器」 上から1行目

誤	上昇率が一定以上になった時に
正	上昇率が一定以上の 率 になった時に

p.156 「(2) 光電式スポット型煙感知器」 上から5行目

誤	設置されている受光素子に入射します。受光素子で起電力が発生し、
正	設置されている 光電 素子に入射します。 光電 素子で起電力が発生し、

p.156 図「■光電式スポット型煙感知器の動作原理」 左下

誤	受光素子
正	光電 素子

p.156 「(3) 光電式分離型感知器」 上から2行目

誤	煙による受光素子の受光量の変化によって
正	煙による 光電 素子の受光量の変化によって

p.157 図「■光電式分離型感知器の構造」 中央の下

誤	受光素子
正	光電 素子

p.175 「5 構造および機能」 「(1) 手動起動装置・蓄積音声情報」 上から1行目

誤	蓄積音声情報の構造は性能は
正	蓄積音声情報の構造 及び 性能は

p.180 問題 2 解説 上から 2 行目

誤	(5) 項イの旅館ホテル、
正	(5) 項イの旅館、ホテル、

p.182 問題 10 解説 下から 1 行目

誤	面積お500㎡以上です。
正	面積は 500 ㎡以上です。

p.190 下から 7 行目

誤	・P 型 2 級受信機の 1 回線専用のもの、
正	・P 型 1 級受信機の 1 回線専用のもの、

p.192 「2 感知器の設置不要な場所」 下から 3 行目

誤	令別表第1の(2)項ニ、(5)項イ、(6)項イ(1)から(3)、
正	令別表第1の(2)項ニ、(5)項イ、(6)項イ(1)から(3)及びロ、

p.193 「(2) 煙感知器、熱煙複合式スポット型感知器」の 4 上から 2 行目

誤	熱アナログ式スポット型感知器) 設置
正	熱アナログ式スポット型感知器) を設置

p.193 「(2) 煙感知器、熱煙複合式スポット型感知器」の 9 下から 2 行目

誤	車路は差動式スポット型感知器設置を設置
正	車路は差動式スポット型感知器を設置 「設置」を削除

p.195 表「■光電式分離型、炎感知器の場合」 上から 2 行目

誤	光電式分離型2種、炎感知器
正	光電式分離型 1 種、2 種、炎感知器



p.196 「平面図」右の文章

誤	差動式分離型感知器、煙感知器の場合、
正	差動式分布型感知器、煙感知器の場合、

p.197 下から2行目

誤	1.5m離れた位置
正	1.5m以上離れた位置

P.202 図「煙感知器の設置」の上から3番目の図

誤	
正	 <p style="text-align: right;">「以内」ではなく「以上」に修正</p>

p.207 練習問題 解答2 上から1行目

誤	2種の光電式分型感知器
正	2種の光電式分離型感知器

.262 下から11行目

誤	3 ストップウオッチで、
正	3 ストップウオッチで、

p.268 「これだけは押さえておこう！」 下から1行目

誤	空气管流曲線の
正	空气管流通曲線の

p. 280 問題 7 解説 下から 2 行目

誤	感知区域が適応で
正	感知区域が適 応 で

p. 302 「(2) 表示灯」 上から 2 行目

誤	交流電圧を 20 時間以上連続
正	交流電圧を 20 時間連続 「以上」を削除

p. 305 上から 1 行目

誤	2 終端にいたる
正	2 終端 に 器にいたる

p. 325 「(11) 接地抵抗計」 上から 2 行目

誤	接地棒を打ち込み、
正	接地 棒 極を打ち込み、

p. 347 「(7) 部屋の感知器の種類と個数」 上から 6 行目

誤	・ボイラー室：定温式スポット型高温度型
正	・ボイラー室：定温式スポット型 高温度型 感知器（高温度型）

p. 347 「(7) 部屋の感知器の種類と個数」 上から 7 行目

誤	・オイルタンク室：定温式スポット型防爆型
正	・オイルタンク室：定温式スポット型 防爆型 感知器（防爆型）

p. 347 「(7) 部屋の感知器の種類と個数」 上から 8 行目

誤	・バッテリー室：定温式スポット型耐酸型
正	・バッテリー室：定温式スポット型 耐酸型 感知器（耐酸型）

p. 352 「3 無窓階の設計」 上から 6 行目

誤	蒸気が出るような場所（湯沸かし場等）：定温式スポット型 1 種防水型
正	蒸気が出るような場所（湯沸かし場等）：定温式スポット型 感知器 1 種（防水型）

p. 352 「3 無窓階の設計」 上から 7 行目

誤	ボイラー室：定温式高温度タイプ
正	ボイラー室：定温式 スポット型感知器 （高温度型）

p. 352 「3 無窓階の設計」 上から 8 行目

誤	オイルタンク室：定温式スポット型 1 種防爆型
正	オイルタンク室：定温式スポット型 感知器 1 種（防爆型）

p. 352 「3 無窓階の設計」 上から 9 行目

誤	バッテリー室：定温式スポット型耐酸型
正	バッテリー室：定温式スポット型 感知器 （耐酸型）

p. 365 図「■問題 1 の解答」 下中央の網かけ部分の計算式

誤	$8 \times 6 = 45 \text{ m}^2$
正	$8 \times 6 = 48 \text{ m}^2$

p. 367 図「4 問題 2 の解説と解答」 上から 5 行目

誤	下から取っておくと
正	下から取って いく と

以上